

# いす組だより

## 身近な人と気持ちが通じ合う

特定の保育者が触れ合う中で、何か伝えようとする意志や人と関わる力の基礎を培います。笑ったり泣いたりさまざまな感情や自身の欲求を表情や身体の動きで表現します。大人が積極的に関わり子どもの感情に気づき、その欲求を受け止め、温かな言葉や態度で答えていきます。そうした中で、子どもとの信頼関係を築き、愛着関係や自己肯定感の土台となっていきます。

## わらべうた・ふれあい遊び



目と目、肌と肌で触れ合い  
愛着や信頼関係を築いています。

## 健やかにのびのびと育つ

保育者の優しさに包まれた温かな関わりの中で、少しずつ「安心できる場所」とわかり、寝返りや腹這いなど、のびのび体を動かして遊び始めます。食事や睡眠のリズムが整い、自ら健康で安全な生活を作り出す基礎を培っていきます。

心

見て・触って感じる  
～自ら感じ、興味が広がる～

## 感触(ざらざら・ふわふわ)

さまざまな素材を肌で確かめ、玩具の特性を感じ取り、「さわってみたいな～」と興味を示します。



## 身近なものに関わり感性が育つ

身近なものに興味を示し、触る、口に入れるなど感覚を通じて、好奇心が膨らみ、探索活動を始めます。音、形、色などに自ら触れることで諸感覚が発達していきます。子どもたちが『なんだろう?』『さわってみようかな』とワクワクしながら自ら玩具に触れたり、身体を動かしたりして遊べる環境を整えていきます。

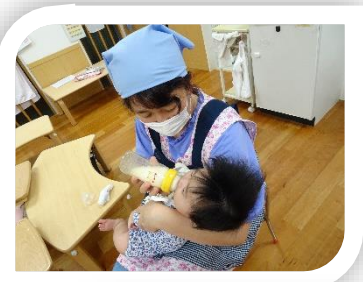
## なんだろう?

自ら草や砂に触って感触を確かめています。「さわってみたいな～」と興味津々です。



からだ

心もからだもすくすくおおくなるよ!  
～家族・友だち・先生と一緒に～



## にぎにぎ玩具

中に鈴や、ビニールが入っています!自ら振ったり、口に入れたり感触を確かめようとしています。